

災害支援ローソンへの協会支援について

先日（3月25日）、株式会社ローソン様に対し、災害支援ローソンへの防災井戸導入に関する協力提案を、（一社）全国さく井協会として行いました。

本提案では、全国さく井協会 防災井戸グループ九州支部の岩隈委員長が、熊本地震の教訓を踏まえて作成した防災井戸資料をもとに説明を実施いたしました。

ローソン様におかれましては、“災害支援ローソン”を2030年までに全国100店舗設置することを目標とされております。当協会からは、全国に会員220社および賛助会員94社を有していること、さらに協会が保有する約7万本の井戸データと技術的知見を活用し、各地域に最適な井戸の提案が可能である点についてご説明いたしました。

説明の過程においては、ローソン様から適宜ご質問をいただき、防災井戸に対する理解を一層深めていただく有意義な機会となりました。

また、防災井戸に加え、工場等で活用可能な常用井戸や、地下水熱（オープンループ方式）の利用についてもご提案し、幅広い観点から情報交換を行いました。

今後も当協会といたしましては、関係各所への働きかけを継続し、防災井戸の普及促進およびさく井業界の活性化に向けて取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましても、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。



株式会社ローソン本社様にて